

## バグダッド 日 誌 (4月12日)

### ○ 人魂？

ナイトシフトの[ ]が青い(青黒い?)顔をしてコンテナに駆け込んできた。「ひっ、人魂が飛んできた!!」あの屈託のない[ ]がただならぬ様相で言う。「コンテナの前をす〜っと飛んできた。」「堂かなんかじゃないんですか?」「そんなに小さくなかった。」[ ]と私は外へ出て、彼の指さす、飛んでいたと思われる付近を眺めていた。その付近には深い堀があり、とてもじゃないが、蜚が生息できる程の環境にはない。「歩いていた人が懐中電灯でも持ってたんじゃないですか?」にわかに信じられない私は聞き直した。「懐中電灯ならすぐ分かる。」と[ ]は反論する。「パレスに行くのが怖い。」と、暗い中、懐中電灯片手に宮殿の事務所に走っていった。

以前、宮殿の大広間の写真を撮った際、薄白い透明の玉のような物体が写っていた。心靈写真の世界では「オーブ」と呼ばれている物らしいが、その直後に同じ場所を撮影した写真には写っていなかった。心靈写真を撮ってしまったと怖くなった記憶があるが、よく考えると、ここはそのような物がさまよっていても何の不思議もないところなのだと改めて思った。パレスの橋は破壊されており、パレス陥落時にニュース画像で流れていた巨大な門が、その破壊された橋の延長線上にそびえている。その際の激しい戦闘が想像できない程の静けさを保っているが、キャンプのそこかしこに点在する破壊された建造物は、そこに執着のある無数の魂を呼び寄せているかのようだ。[ ]の見た人魂は、何処に行きたかったのだろうか?

### ○ 風雨

日本では、現在大雨が続いているようだが、ここバグダッドでも2月中旬以来の風雨に見舞われた。雨が降ると泥濘化して歩くことさえ困難になっていた箇所があり、そこに木橋が架設されて以降、雨が降っていなかったのに、無駄に終わったかなと思っていた矢先の大雨であった。ところが、その木橋は途中までしか架設されていない。やはり、余り意味のない木橋だと、多分そこを通る大部分の人は思っていることだろう。

その風雨の日から数日後、週1回の楽しみとしている、家への電話をしようとしたところ、何度コールしてもかからない。衛星電話だから、電波状態に問題があることがあり、かからないこともたまにあるが、2~3日経っても変化がない。アンテナに異常があったのかと思った[ ]が、屋根の状況を見て一言、「あのアンテナは良いの?」2枚並んでいる片方は南を向いて立っているが、もう1枚は反対方向に向いている。これじゃ、かかるわけないか……。幸にも横の角度は変わっておらず、起こすだけで事なきを得たが、2月の嵐でさえ傾くことのなかったインマルM4のアンテナだったのだが、そろそろ注意しなくてはならない。何といっても、大事な家族との絆のラインであるから。 [ ]



## バスラLO日々業務報告(4月12日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [ ] [ ] (警戒態勢) : [ ]
2 特記事項	(1) [ ] (2) [ ]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [ ] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) J4会議(メチカ)代理出席 (5) 空路輸送等調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 空路輸送等調整等
5 その他(備考)	* R&R [ ]